

## 研修会講演内容

### 「歯科用 CAD/CAM 用材料の現状と将来」

中 鷲 裕

明海大学歯学部機能保存回復学講座歯科生体材料学分野 教授

歯科用 CAD/CAM による補綴修復物製作が普及し始め、多種の CAD/CAM システムが歯科技工に導入されている。補綴修復物の製作には、従来から金属、セラミックス、ポリマー材料やコンポジット材料が使用されてきている。これらの材料は従来からの成形加工法（鋳造や焼成など）に対して必要な特性を有している。CAD/CAM による成形加工においてもセラミックス、金属、コンポジット材料が使用されている。しかしながら従来の成形方法とは違った材料特性が求められているものもある。研修会講演では、CAD/CAM 用材料の種類や CAM による加工に必要とされる特性や従来の成形加工法に必要とされる特性との違いなどについて解説する。また、将来的にどのような材料が求められるのかを考察する。